

視察報告

■ 7月1日 総務省にてレクチャー

地域主権改革関連2法案の概要や地域主権戦略会議、地方行政財政検討会議などについて、要点をまとめた説明を頂きました。



■ 8月5日 箕面市役所視察

箕面の倉田市長じきじきに、共同処理センターと教員人事権の移譲についてお話をしてくださりました。



■ 8月10日 杉並区区役所視察

先代の山田区長が進めておられた減税自治体の取組みについて職員の方から説明を受けました。



■ 8月24日・25日 台湾視察

李登輝元総統や地方政治家の方々と、国防や経済交流、教育をテーマに意見交換をして来ました。



また、現地邦人の方々と、国際経済や日本の国政について話合ってきました。外から見ると国や地方の課題が良く分かります。

■ 9月3日・4日・5日 上海視察

万博経験都市吹田として上海市人民対外友好協会を訪問し、観光政策・医療政策を視察してきました。



今後の活動

吹田

11月14日(日)

新選会活動報告
パーティー

新しい仲間を加えた
新選会の活動報告を
させていただきます。

大阪

11月21日(日)

大阪教育改革を
市町村からはじめ会
×
日本教育再生機構
コラボシンポジウム

大阪の教育について
府下の議員と議論を
交わします。

関西

10月5日(火)

関西圏政治家連盟
研修会@西宮

関西広域連合に
ついて勉強します。

日本

10月9日(土)

龍馬プロジェクト
大阪キャラバン@天満橋
H23年1月15日(土)
龍馬プロジェクト
臨時総会@吹田

全国の仲間の議員と議会改革
や地方議員のあり方について
提言をあげます。

ポスター掲示のお願い



新選会のポスター
掲示にご協力頂ける
方は、神谷・石川の
事務所までご連絡
ください。

新選会ホームページができます!



10月初旬に新選会のHPが完成します。
メンバー個々の活動だけでなく、新選会
としての動きが分かるような構成にして
おりますので、また一度のぞいてみてください。

Vol.14 2010.09

S H I N S E N K A I

吹田新選会通信

SHINSENKAI
吹田新選会

政治に「誠」まことに「夢」
人に大きな「志」

吹田市議会議員

かみや そうへい

神谷 宗幣

『4年間の教育政策を総括』

今回の議会質問では、自分の教育への思いやビジョンを述べて、市長の思いもお聞きしたいと思ったのですが、すっかり肩透かしでした。答弁書棒読みでは、思いが伝わりません。

文教市民委員会委員長
都市環境整備対策特別委員会委員

4年間の教育に関わる質問を総括し、今吹田の教育に何が必要かを再度確認しておきました。小さいことですが、新選会が最初に提案していた学校へのエアコンの設置に、共産党や公明党の皆さんも賛同くださり、市長も年次的に取り付けていくとお答えくださりました。来年の夏までに少しでも整備が進めばと思います。

選挙まで残り半年、市長は駆け込みで条例や施設をつくりあげられますが、我々は選挙に惑わされず、筋を通してしっかりチェックを続けていきます!

Profile

昭和52年 福井県大飯郡高浜町生まれ
福井県立若狭高等学校卒、関西大学在学中に一年間海外をまわり、自分を含めた今の日本の若者はこれでいいのかと疑問を抱く。大学卒業後、高校教師の経験を経て関西大学法科大学院へ進学し、平成19年3月卒業後、4月の統一地方選挙で吹田市議会議員に初当選。

「熱カッコイ仲間を集え!!変えよう!若者の意識」をキャッチフレーズに、吹田市の教育の充実を目指し活動中!

【自宅】吹田市山田東4-41 5-814号

TEL/FAX: 06-6567-8750

【事務所】吹田市泉町1-3-40 市役所3F

TEL: 06-6337-6928(直通)

E-mail: info@kamiyasohei.jp

毎日更新のホームページはこちらです。

<http://www.kamiyasohei.jp>

市民まちかど相談所

- ・市政に関する要望、相談
- ・若者、障害者の就労支援
- ・住宅問題、住まい探し
- ・子育てや教育の悩み
- ・多重債務や金銭・法律トラブル

無料
秘密
厳守
予約制

★ご予約先
TEL 06-6385-1230
FAX 06-6385-1239
吹田千早山郵便局

★場所
千早山行政書士事務所

★開催日 毎週月曜～金曜

携帯のカメラで下のQRコードを読み取りアクセスして下さい。



挑戦する勇氣・守る
やさしさ・創る情熱

吹田市議会議員

いしかわ まさる

石川 勝

『議会改革!新しい政治を創る』

すべては志からはじまる。私の心に最初に宿った議会改革への思いは、1人では成し遂げることが出来ない。同志の神谷議員と共に訴えてきた議会改革の扉を、やっとの思いで開く事ができた。

議会改革に向けての小協議会の設置が決まった。しかし、我々に残された任期はあとわずかであり、期間内でやるべきことを「しっかりとやりきる覚悟」が必要だ。

私としても、再度「改革へ向けた決意」を表明する。同僚議員と超党派で是々非々の議論を展開し、共に議会改革を成し遂げられるよう願っている...

ついに!吹田の政治が変わろうとしている...

農業委員会委員
財政経済委員会委員
議会運営委員会委員

Profile

昭和43年 吹田市垂水町生まれ
北千里高校7期生・神戸学院大学法学部卒。

24歳の頃より「時代を創るのは青年の使命である」との思いで「まちづくり運動」に関わる。主な経歴は吹田青年会議所理事長・豊一小PTA会長・ボランティアフェスティバル実行委員長。「挑戦する勇氣・守るやさしさ・創る情熱」を持って何事も「とことんやります!」今年の目標は「優先特化、中心発動」です。任期の最終年度を迎えます。しっかりと物事の芯や軸を見極め、効果的に結果を導きます。

【連絡先】吹田市垂水町1-31-22

石川まさる事務所

TEL: 06-6337-7701 FAX: 06-6337-7702

mail: ishikawa@wish.ocn.ne.jp

活動内容はブログをご覧ください。

http://blog.livedoor.jp/ishikawa_masaru

いつでも市民相談

無料 秘密 厳守 予約制

最近、市民の方から相談を受ける機会が増えました。相談者から「こんな相談を議員さんにしても良いかわかりませんが...」との言葉をしばしば耳にします。しかし聞いてみると、何故もう少し早く相談してくれなかったのか?と思うことがあります。生活と政治は深い関わりを持っているので私はありとあらゆる相談に対応できるように努めています。ご遠慮なく相談を!

阪急豊津駅徒歩約8分

【連絡先】石川まさる事務所 吹田市垂水町1-31-22

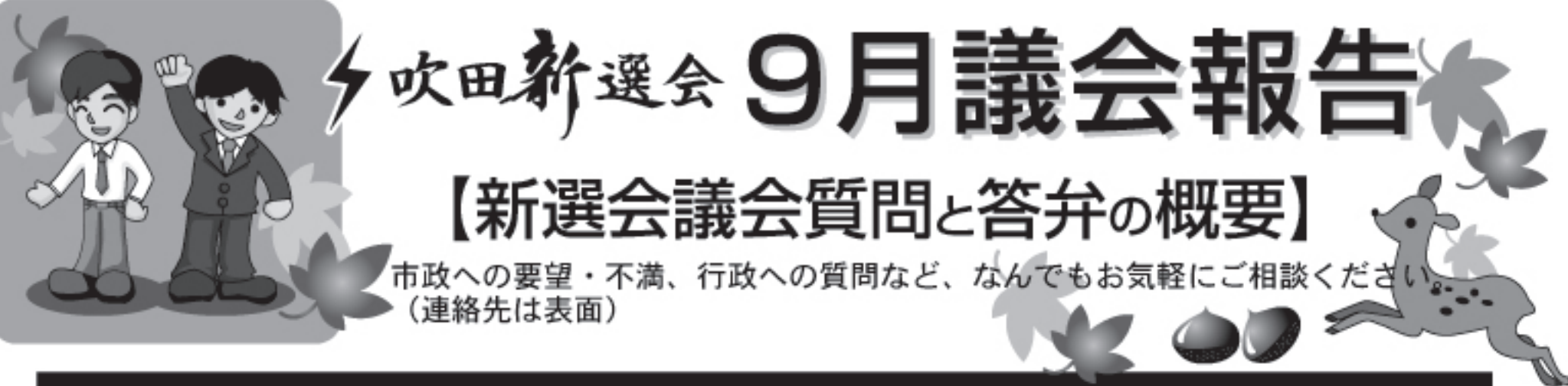
TEL: 06-6337-7701 FAX: 06-6337-7702



携帯のカメラで下のQRコードを読み取りアクセスして下さい。



発行元 吹田新選会 〒564-0041 吹田市泉町1丁目3番40号 市役所3F
■新選会通信をお届けします! 新選会通信は、年4回の発行を予定しています。ご興味のある方は、ご連絡下さい。こちらから郵送させていただきます。
■御協力願います! より多くの皆様に新選会の活動や思いを知って頂くため、新選会通信の配布にご協力頂ける方、お店等に置いてもいいよという方がいらっしゃいましたら、お声がけ頂きたいと思ひます。



【教育】まちづくりの基本、市長の教育ビジョンは？(神谷代表質問)

私は、国の危機的現状、国際感覚、日本人としての行動規範、つまり道徳、そして、世界に通用する科学技術や語学を子供たちに身につけさせておくことが大切であると考えている。これからの吹田の子供たちに求められる力について、吹田のリーダーである市長の認識、教育ビジョンをききたい。

【市長答弁】

私は、先行き不透明な時代を生きる子どもたちにとって、一人ひとりが個性や自主性を尊重しながら、基礎的な学力はもとより、文化・芸術などの創造性、みずみずしい感性、あるいは道徳観、健全な身体といった「知・徳・体」の総合的な力を身につけることが重要であると考えている。

【教育】学校にエアコンの設置を！(神谷代表質問)

学校訪問をしていて暑さでぐったりした学生の顔を見るのは忍びない市内には「熱中症シェルター」を作るのに、学校に通う子供には我慢しろというのでは、筋が通らない。シェルター設置は単なるパフォーマンスか。学校のエアコン設置について市長の見解は。

【市長答弁】

今夏の異常な暑さは、まさに「非常事態」とも言えるもの、この暑さは来年以降も続くと考えられる。今後、こうした事態に対応するため、エアコン設置については、天井扇を併用しながらも、健康や環境への配慮を積極的に行う中で、耐震化工事の状況も勘案し、年次的な計画を定め、整備を進めていく。

【教育】新設される山田の青少年拠点施設の有効活用を！(神谷代表質問)

山田にできる青少年拠点施設は、計画では他の公共施設と同じように夜10時くらいで閉館になる計画だが、深夜も活動に使いたいという声がある。そうした声にこたえることはできないのか。

また、運営形態についても、民間の力をかりて、より幅を持たせた運営に努めるべきではないか。

【答弁】

開館時間については、パブリックコメント等により、近隣の住民の皆様や市民の意見も参考にしながら、住宅地という条件も考慮して設定したものだが、議員の指摘のように、若者の自己表現は様々で、この施設はあらゆる若者の居場所となることを目指しているの、今後は再度市民の意見もお聞きしながら、運営協議会等の場で研究していきたい。

『ひとり親家庭の自立支援を！』～在宅就業支援事業の提案～

【石川が提案する理由】

1. ビジネススタイルの変化。

民間企業では、情報技術の進展と共に、在宅勤務が進んでいる。これにより、通勤のために出来なかった「子供の送り迎え」が可能になったり、子供の帰宅時に「親が子供を迎える」ことが可能になる。

2. 家族で過ごす時間を増やしたい。

核家族化が進み、子供だけで過ごす時間が増えている。成長期の子供にとっては、親の存在が大変重要である。在宅就業によって、親子の向き合う時間が増えれば、親子共々の育ちを促進でき、仕事と子育ての両立が期待できる。

3. 埋もれてしまっている優秀な人材の自立を支援したい。

親がしっかりと自立して、子供にとっても、世の中にとっても役に立つ人になることが重要である。

4. 国の予算、約2億5000万円程度の確保が見込まれる。

上記の理由で提案するが、バラマキ施策ではなく、努力する者が報われる仕組みにするべきだ。

【答弁】

在宅就業支援センター機能の提案について、現在の取り組みを踏まえる中で、更に進めていくために検討する。

『雇用問題の根本は、教育である』～キャリア教育センターの設置提案～

学生から社会人になった途端に競争社会のギャップにさらされ、ついていけない若者が多くいる。また、自分の夢や志を持てず、目標設定もできない若者が増えている。

社会全体で、子供達が夢を持てる環境をつくり、小学校では素志を芽生えさせ、中学校では志を立てる教育をやるべし。しかし残念ながら、家庭も学校も、その担いを十分に果たせない環境にある。そこで、吹田市全域を対象としたキャリア教育として、家庭・学校・地域・企業・団体をつなぐ役割を果たす「キャリア教育センター」の設置を提案する。

【答弁】

学校教育では、全ての教育活動を通じて計画的・系統的にキャリア教育を行っている。本市の研究学校で取り組んだ9年間の実践例を発信し、全体構想を考えていく。「吹田独自のキャリア教育センター機能の創設」について、関係部局と連携して研究を進める。

『日本一の市役所を目指して』～電話の応対を今日から改善～

市民から、役所の各窓口の電話応対が悪い!とクレームを受ける。名乗らない・声が小さい・はっきり答えない・タライ回しにされる等、基本的な事が多い。早期に改善するよう指摘する。

【答弁】

今年度から「接遇指導者養成研修」を実施しているが、未だにご意見を頂く事は大変遺憾な状況だ。